

第6学年1組 社会科学習指導案

日 時 平成22年12月7日(火) 5校時

場 所 6年1組教室

指導者 山根 基秀

G T 川添 俊樹 (町建設課長)

研究の視点

町の防災への取組を取り上げ、地方公共団体の働きと国民生活との関わりを調査したり、討論したりすることで、日常生活や既習学習で身に付けた知識や技能を生かし、政治の働きの理解と今後の生活への活用力を育成できるのではないかと。本時の具体的な手だてとして、以下にあげる。

- ・ 身近で具体的な町のハザードマップを活用し防災への意識を高め、人々の安全への願いと地方公共団体の働きとの関わりを追究する話し合いを取り入れる。
- ・ 町教研・学習指導委員会や校内研修の主題のキーワード「課題解決学習」「確かな学力」にせまるため、教科横断的な学習や既習学年での学習内容を生かした授業を仕組む。

1 単元名「わたしたちの願いと政治のはたらき～自然災害に強いまちづくりをめざして～」

2 指導の立場

- 本単元は、町の防災への取組を糸口にして政治に関心をもち、地方公共団体や国の政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを、より広い視点から考え、判断する力を培うことをねらいとしている。また、防災をメインに取り上げることで、生きる力としての危機予測・回避能力の育成をめざした危険予測学習 (KYT) につなげる。さらに、「国民生活は、地方公共団体や国の政治の働きが反映している」ことを明らかにする調査活動過程で、既習学年で培った活用力を発揮しようとする態度を養う。
- 本学級の児童(男子14名、女子10名)は、単元に必要な資料活用能力や判断力、説明力は十分身に付いている。また、他教科で培った力を横断的に生かそうとする意識も高い。よって、調査活動や話し合いによる課題解決がされることが期待できる。反面、学習内容に関しては意識調査から、生活安全への意識(42%)、交通安全(46%)、災害安全(12%)と、自然災害や火災に対する危機意識が薄い。この結果を受けて、国民生活と政治の知的追究学習だけでなく、身近で具体的な社会的事象と関連付け調査活動を取り入れることで、単元のねらいを達成したい。
- そこで指導にあたっては、次のことに留意したい。
 - ・ 6000分の1の地形図をもとに、既習事項を生かした災害のおそれのある地域クイズの実施また、洪水・地震ハザードマップを活用して、調査活動の充実を図り、追究意欲を高める。
 - ・ 「危険なのはどっち?」「あなたならどうする?」などの発問による危機意識の高揚や、災害に強い町づくりへの社会参画への意識を高める。
 - ・ わたしたちの願いと政治とのつながりをより身近に実感できるように、町の災害や防災に関する資料収集や町職員、防災専門家などの指導者招聘に努める。

3 目標

- 町の防災への取組を糸口にして政治に関心をもち、人々の願いと政治の働きの関わりについて、意欲的に調べ、課題解決に向けて、考えながら追究する。(関心・意欲・態度)
- 人々の願いと政治との関連や政治の働きについて、地域発展や社会保障などより広い視野から適切に判断している。また、調べたことを工夫して表現できる。(思考・判断・表現)
- 政治の仕組みや働きについての確に調査活動を行い、関連資料を目的に応じて有効に活用することができる。(技能)
- 町の防災への取組をはじめ、公共施設の建設や社会保障に関する地方公共団体や国の政治は、人々の願いをふまえ、国民生活の安定と向上に大切な働きをしていることを理解できる。

(知識・理解)

4 指導・評価計画（全8時間）

次	時	学習活動	評価規準	☆習得させる力 ◆活用できる力	観点・方法			
					関	思	技	知
一	1	町の公共施設を調べ、町の政治について関心をもち、学習課題を設定する。	図書館やスポーツセンター、ハミングロードなどに関心をもち、学習課題を進んで設定している。	☆学習課題（疑問）の発見力 ◆町の様子調べでの知識（3年社会）	○観察	○プリント		
	2・3	道路建設や田畑・河川の改修工事など地域の開発について調べる。	地域の再開発に目を向け、人々の生活と結びつけて、政治の働きを適切に判断している。	☆広い視点からとらえた政治認識の思考力 ◆資料活用能力		○発言	○プリント	
		福祉や健康医療、子育て支援など社会保障の現状を調べる。 (発展・献血教室)	命に関わる町民生活の安定と向上のために、政治は大切な働きをしていることをまとめている。	☆社会参画への意識・態度 ◆豊かな心を生かした判断力(道徳)		○プリント		○ノート
	4	総合計画や予算など町の政治の仕組みをさぐり、その働きをまとめる。 (発展・租税教室)	町の将来像や税金を含めた予算の用途について調べ、政治の働きを分かりやすくまとめている。	☆願いと政治の関連からの判断力 ◆自分の思いを発信する表現力(国語)		○プリント	○作成資料	
	5本時・6	町の防災への取組を調べ、町民生活の安定と向上と町の政治の関わりをまとめる。	町の仕事は、町民の願いを実現していることを理解し、政治の働きをまとめている。	☆町民の願いと政治を結ぶ判断力 ◆日常生活の回顧 ◆読図の力（3年社会）		○発言		○プリント
		土砂災害とその対応について学び、防災への知識を深める。 (県主催・防災教室)	危険予測や危険回避の大切さに気づき、未然防止・初期対応・事後対応策などを理解している。	☆防災についての的確にまとめ判断する力(危機管理) ◆聞く力、質問態度 ◆災害の知識(理科)	○アンケート		○プリント	
二	7	選挙制度について調べ、選挙をとおして、政治に参加する大切さをまとめる。	人々の願いを伝える議員を選ぶ選挙について、仕組みを調べながら、その意味について考えている。	☆政治参加への意識と態度 ◆まとめたことを発表する説明力		○観察		○ノート
	8	県や国の政治について、人々の願いを実現するための三権分立の仕組みを調べる。	国の政治は三権分立の仕組みをとり、人々の願いを実現していることが分かっている。	☆国民生活の安定と向上をめざす政治の働きへの知識と理解		○振り返りカード		○ノート

5 本時案（第一次 5／6）

(1)ねらい 洪水・地震ハザードマップから町の防災への取組を調べ、町民の生活の安定は町の政治との関わりがあることを的確に判断し、まとめることができる。

(2)準備 災害写真 「6000分の1」地形図 洪水・地震ハザードマップ（防災地図）
学習プリント 電子黒板

(3)学習の展開

前の学習	総合計画や予算など町の政治の仕組みをさぐり、その働きをまとめる。		
段階	学習活動・内容	児童の変容過程	教師の働きかけ・手だて
つかむ	1 災害写真や防災地図を見て、気づいたことを話し合う。 ・町内の災害 ・危険個所 ・復旧活動	・災害は少ないと思うよ。 ・道路に水があふれている。 ・川の護岸が崩れている。 ・危険個所がいっぱいある。 ・町役場の人が助けるの？ ・地図を詳しく見てみよう。	◆ 洪水写真の提示や校区内の危険個所当てクイズをして、災害を実感させ、学習課題にせまる。その際、読図の仕方を生かすよう助言する。 ・ 復旧活動や防災対策工事に着目させ、本時のめあてにつなげる。
追求する	2 ハザードマップ作成の訳を調べ、話し合う。 ・災害安全 ・町の防災組織 ・危機予測	・地図の水色は、洪水予想！ ・赤色は、土砂崩れだ。 ・マップは誰が何のために？ ・土嚢を置いているのは町役場の人たちだ。 ・町民の生活を守るためよ。	・ ハザードマップ（防災地図）の記載事項に着目させ、配布元や作成意図、凡例や防災のノウハウを考えさせることで、課題解決にせまる。 ・ 現実的で身近な対策を取り上げ、理解しにくい児童の支援をする。
み	3 町の防災への取組を知り、自分にできることを考える。 ・平常、災害時活動 ・自主防災組織（自治会、消防団） ・防災、防犯メール ・議員の存在 ・自分にできること ・危険回避能力	・役場の人に聞いてみたい。 ・事前対策は大切なのだね。 ・情報は、電話やメールで入手できて安心。 ・各自治会でも活動している。当番が回るよ。 ・防犯パトロールもそう？ ・防災意識を高めたい。 ・町は、人々の生命と財産を守ってくれているのだ。 ・議員さんが私たちの代表。	・ 建設課長さんの話から、人々の生活と政治が関わりをもっていることを認識させる。 ・ 「こんな対策を」「自分にできること」など、危険予測や危険回避、社会参画の大切さに気づかせる。 ・ 町予算の図を見せ、町民の安定した生活を守るための政治であることにも触れる。 ・ 人々の代表である議員の存在にも気づかせ、生活と政治をつなげる。
まとめ	4 政治の働きをまとめる。 ・ 町民の安定生活を守る政治	・ わたしたちの生活は、政治の働きと関係がある。 ・ 人々の願いの実現の仕組みや防災についてもっと知りたいな。	☆ 学習プリントに、生活と政治の関わりについて文で書かせる。 ・ 様々な災害対策があることを知らせ、発展学習へつなげる。 📄 学習プリント
後の学習	土砂災害とその対応について学び、防災への知識を深める。（県主催・防災教室）		

(4)評価 町の防災への取組を調べ話し合うことで、生活の安定と町の政治とは関わりがあることを的確に判断し、まとめることができたか。

- A 町民生活の安定と町の政治との関わりから、政治の働きについてまとめている。
- B 洪水や地震から生活を守るためには、町の政治が必要なことに気づいている。
- C (手だて) 防災に取り組んでいる町の仕事を文にまとめさせる。

6 考察

- (1) 右記のように、田布施町教育研究会・学習指導委員会及び校内研修の提案授業として、本授業を仕組んだ。

そして、授業の視点を3つ設定した。課題解決学習については、災害写真や危険個所探しを通して、どうやって命や生活を守るかという課題を見つけ、資料活

用から、課題解決に向けていく流れを想定した。確かな学力については、地形図活用とその読図活動や学習プリントに説明や思いを書くという活動を仕組んだ。

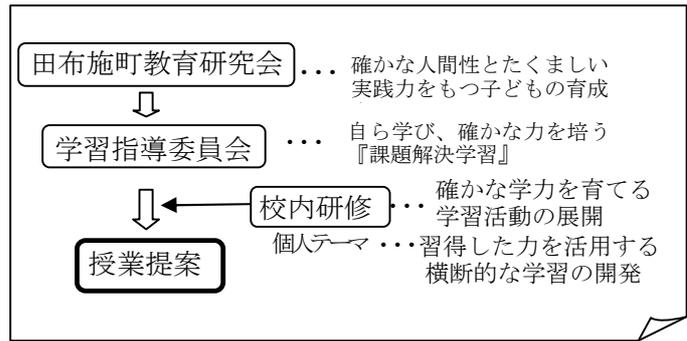
最後に、社会科学習におけるより身近で実物的な学習が展開できるよう各戸配布のハザードマップや写真などの題材を取り入れるなどの工夫をした。

防災の観点から安定生活と町の政治を結びつけたことは、危険→命を守る→町の活動（政治）という意識の流れを作ることができた。

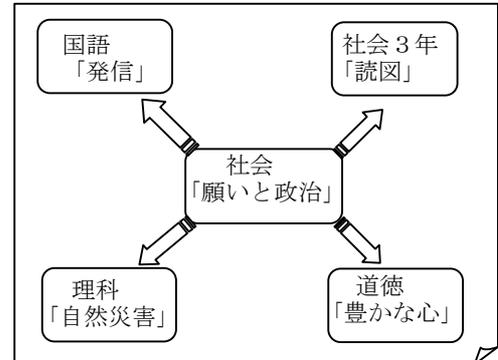
また、危険回避や自分を守る考えがふくらみ危険予測学習への発展を見た。さらに防災や災害時の地域の協力の大切さから社会参画への意識が芽生えたと考える。

- (2) 個人テーマについては、読図や既習の防災学習など他教科や既習内容を生かした横断的な学習を仕組むことで、習得した力を活用する力が養われていったものと確信する。

今後、子どもたちがさらに活用力を発揮できる課題設定や主発問などの工夫をしていきたい。



<ハザードマップから危険を探す>



<主な教科等のつながり>

7 成果と今後の課題

本学習を仕組むうえで、「課題発見・解決」「確かな学力」「実物的な学習」を意識した。結果、身近なものから課題を見出す力や学んだことや自分の考えを書く力が培われたと思う。何より、防災への意識の高まりや命の大切さを実感できたことが成果である。



<教育効果の上がる視聴覚機器の活用>

今後は、行事を含めた全教育活動を視野に入れ、防災学習の学年別、教科別の系統性を考えた、活用力が活かされる学習に取り組みたい。

さらに、指導と学習、調査と論説などメリハリのある授業作り、そして新学習指導要領の完全実施に向け、限られた時数の中での学習内容増に対応した授業展開の工夫などに取り組んでいきたい。また、より教育効果の上がる学習材の開発や電子黒板（スマートボード）などの視聴覚機器の活用法などを探っていきたい。

学習プリント（防災編）

年 組 名前（ ）

<災害の様子を書こう>

○

○

<危険な場所を探そう！>

この場所は、 な所です。

だから、 だと思います。

地形図から見つけよう！

<ヒント>

等高線

水準点

川や山の位置

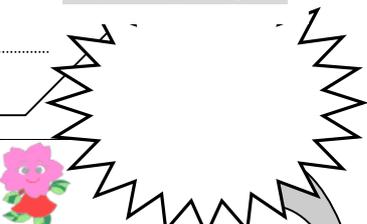
ハザードマップから探ろう。

<ハザードマップから>

赤色のわくは、.....

水色は、.....

<私たちの願い>



だれが、どうやって命を守るの？

<ハザードマップ作成のわけから考えよう！>

資料の中に、 と書いてあります。

だから、

(だれが)

(何のために)

作ったと思います。




自分たちにもできるぞ！

町役場の方のお話やハザードマップからわかったこと

<町の取組>



人々の生活と政治のはたらきでわかったことをまとめよう。

町の政治は、わたしたちの願いを が分かりました。

だから、 わたしたちの安全な生活は、 に支えられています。

しかし、自分の命は、 で守ることが大切です。

- 
- 町の危険（人々の願い）を進んで見つけたか。
 - 日常生活や今までの学習が生かされたか
 - 町役場の人の話を上手にまとめたか。
 - 危機を乗り切るための方策が頭に浮かぶか。
 - 生活と政治のつながりが説明できるか。
 - もっと調べてみたいことがあるか。

振り返りカード

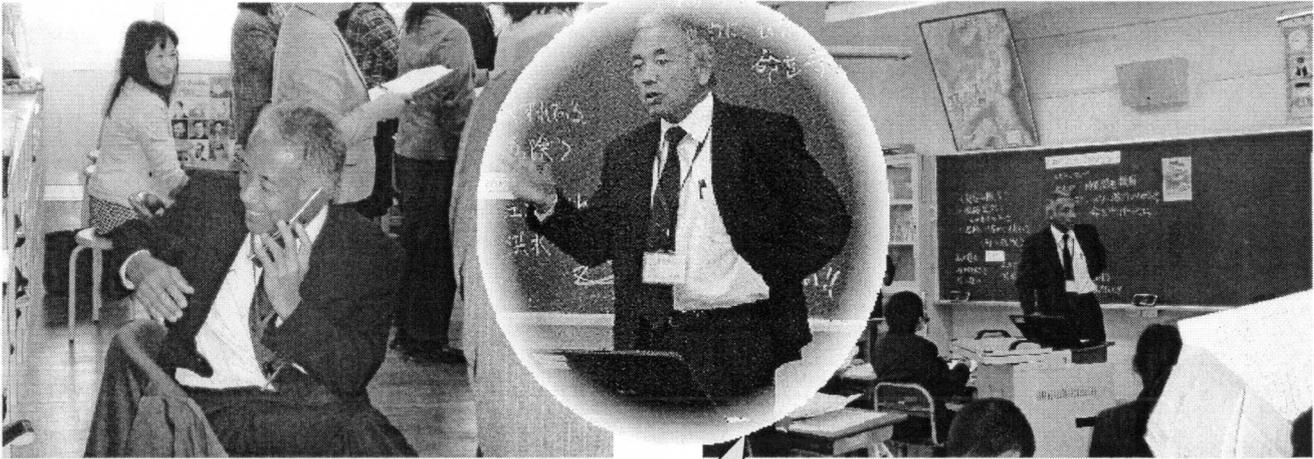
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4

町の防災の取組を学習

平成22年12月7日(火)
麻郷小学校6年1組 教室

ハザードマップを作成したのはだれ?何のために?

GT: 町役場建設課長: 川添俊樹様



町の防災に
興味津々!!

ハザードマップは、防災について
教えてくれているのだ!

町は、わたしたち
の生活や命を守って
くれている。私たち
も防災についてでき
ることをしていきたいな。

